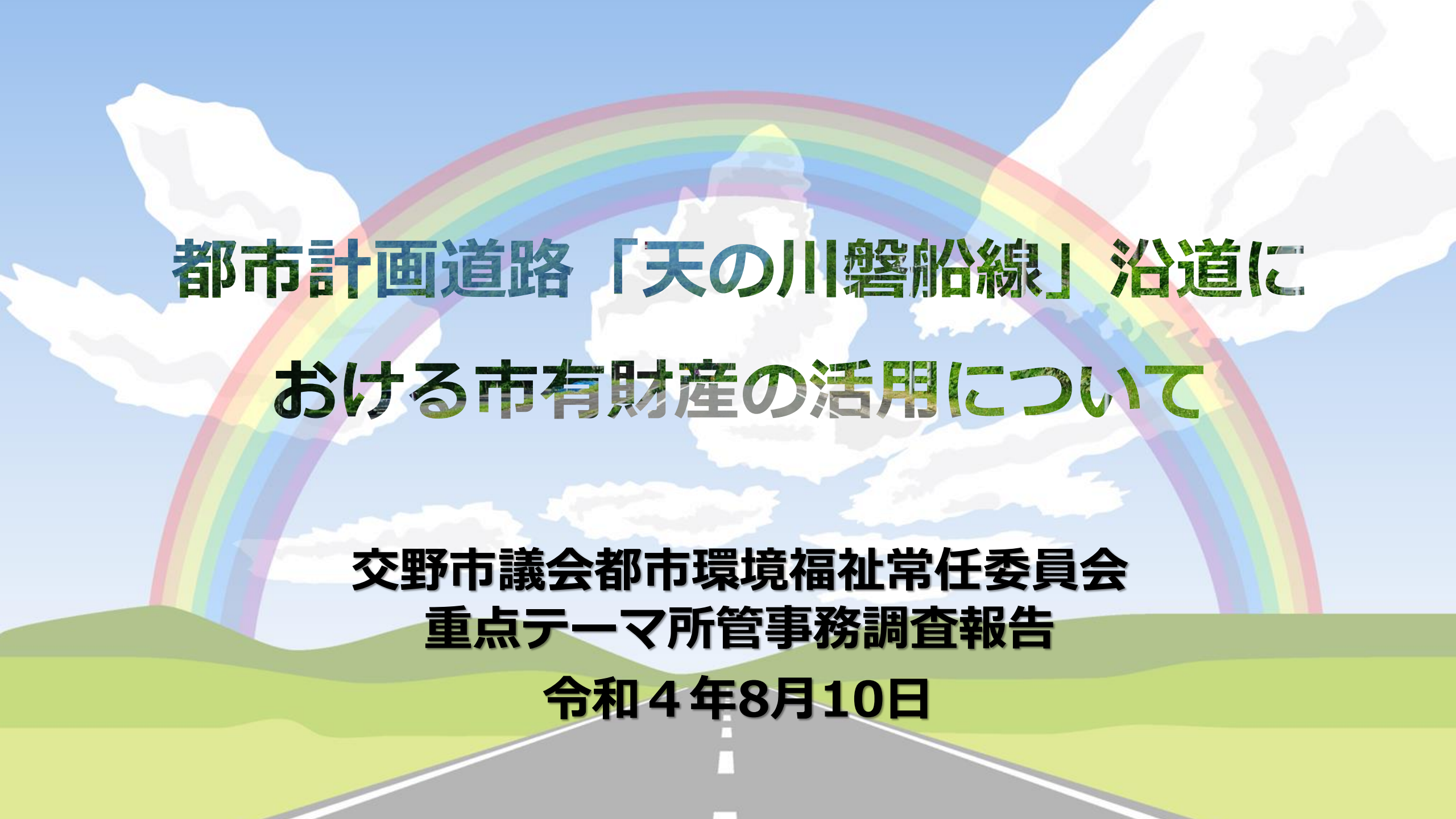




都市計画道路「天の川磐船線」沿道に おける市有財産の活用について

交野市議会都市環境福祉常任委員会
重点テーマ所管事務調査報告

令和4年8月10日

03 はじめに（テーマの決定）

05 調査期間及びメンバー

06 活動スケジュール

07 市の現状確認

11 他都市視察

33 市の方向性の確認

41 各委員の意見

45 まとめ・提言

○令和3年9月22日

都市環境福祉常任委員会で取り組むべき“調査事項”について、協議。

希望するテーマ（調査事項）	希望する理由
・ 環境の取り組みについて	環境基本計画の見直しの時期に合わせた。
・ 乙辺浄化センターの更新について	更新するにあたり、+αの機能を持たせた場所として生まれ変わった他市の事例等を学ぶため。
・ 気候変動の対策について	地球温暖化対策など、自治体ができる対策を検討したいため。
・ 天の川磐船線のまちづくりについて	二国のメリットを活かし、市外からの移動者や市民にとって役立つまちづくりをしていく必要がある。
・ 高齢者、障がい者等の外出支援について	高齢者、障がい者などの移動手段を充実する施策を検討したいため。

※令和3年9月8日の委員会で希望するテーマの提出期限を周知した。上記表は各委員からの提出内容。

テーマ

都市計画道路「天の川磐船線」沿道に おける市有財産の活用について

👉 選定の主な理由

乙辺の更新は
市の課題

天の川磐船線と
立地を含めた
乙辺との関係

乙辺を含む
市有財産の活用

➤ 調査期間

令和3年9月 ～ 令和4年8月

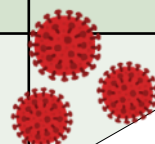
➤ 調査メンバー

都市環境福祉任委員会委員 7名

委員長：				副委員長：			
委員：				委員：			
委員：				委員：			
委員：							

活動スケジュール

6

月 内容	令和3年					令和4年							
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
テーマ決定	9月22日		都市計画部及び環境部より市の取り組み状況の説明を受けた。										
市の現状確認	重点テーマの選定及び決定		11月10日				“道の駅鹿島の取組みについて”、担当部署からの説明及び現地視察を実施。						
視察（佐賀県鹿島市）					視察の延期				5月9日				
視察（佐賀県(佐賀市)）										5月10日	重点テーマに関わる、市の方向性を改めて確認。		
市の方向性の確認			新型コロナの感染状況を鑑み、予定していた視察を延期。			“SAGAサンライズパークの取組みについて”及び“佐賀駅周辺整備事業について”、担当部署からの説明及び現地視察を実施。					7月22日		
委員間協議（まとめ）												8月1日	
全員協議会(市への報告)									これまで取り組みについて、委員間で協議し、まとめを実施。			8月10日	
									全員協議会にて市への報告				



日 時…令和3年11月10日 午後1時から
場 所…交野市役所3階 第一委員会室
実施内容…担当課(都市計画部・環境部)による説明、質疑

○環境部説明

- 乙辺浄化センターの更新(建て替えに限定せず)
- 環境部の機能の集約化
- 施設の耐震診断調査等の実施

○都市計画部説明

- トラック駐車場(休憩施設)の検討
- 天の川磐船線に関し、「市が沿道でまちづくりを実施する事」が事業化の条件
- 防災拠点の検討

今後の方針は、庁内の関係部局で協議する。

○環境部（検討案）資料抜粋



○都市計画部（検討案）資料抜粋





写真：道の駅 鹿島内にて

視察内容：
“道の駅鹿島の取組みについて”

[道の駅鹿島HP](#)

佐賀県鹿島市



<http://www.craftmap.box-i.net/>

佐賀県鹿島市視察

(令和4年5月9日)

“道の駅鹿島”の取組みについて”【概要】

- ・道の駅鹿島の場所は、昭和51年の豪雨災害の残土処分場として埋立てを開始。
- ・昭和58年から鹿島市七浦海浜スポーツ公園として、体育館、プール、駐車場などを整備。



**当初、“道の駅”を造る予定はなかった。
結果として、“道の駅”の要件を満たした。**

- ・有明海の干潟を活用した“まちおこし”として、地元有志による第1回鹿島ガタリンピックが昭和60年に開催。
- ・昭和62年以降、各施設の設置及び拡充し、平成6年に県内で初めて道の駅として認定。
- ・県と一緒に道の駅鹿島整備事業を実施。



平成27年には重点道の駅に認定。

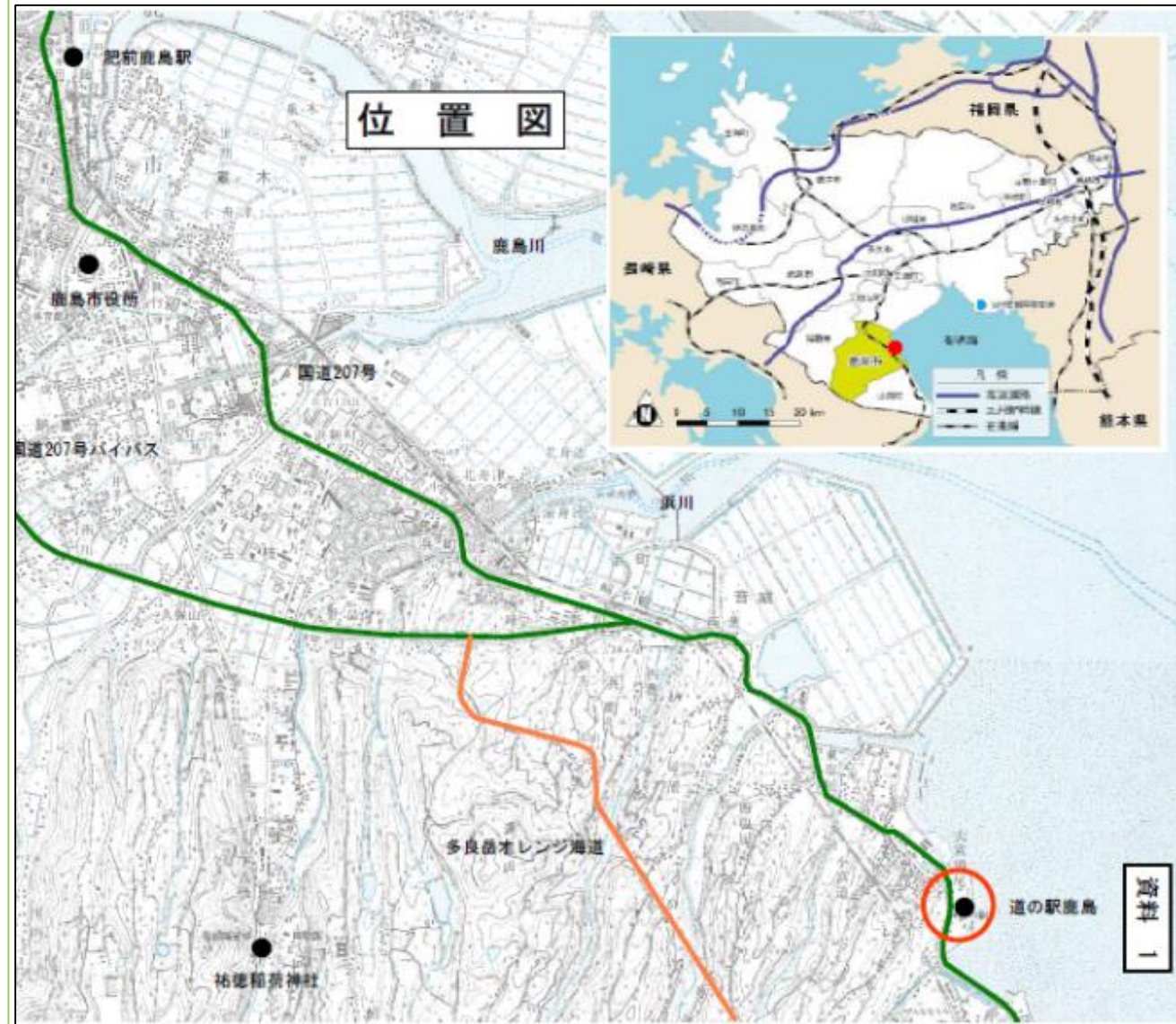
- ・施設により管理区分が異なる（直営・委託）。
- ・全体として黒字である（地域密着）。



出入口の変更や普通車と大型車の動線分離などに取り組んでいる。

etc

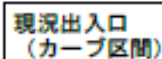
○鹿島市提供資料



資料 1

凡例

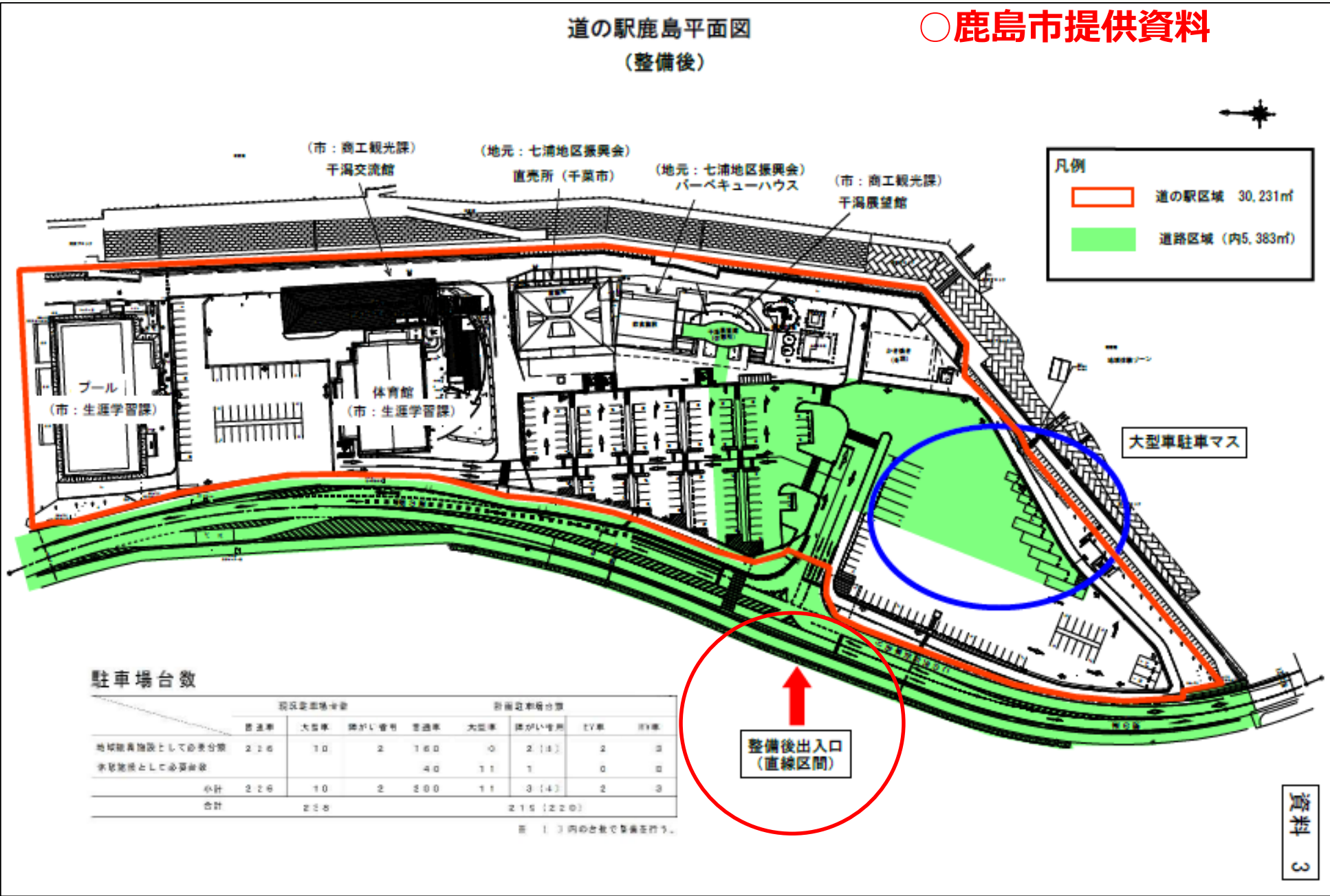
道路区域 (内4,250㎡)



現況盤點報告書

図 1.3 内の各数で計算を行う。

資料 2



○鹿島市提供資料



①道の駅鹿島全景



②直売所（千菜市）



③バーベキューハウス



④干潟展望館



⑤干潟交流館



⑥鹿島ガタリンピック



写真：SAGAサンライズパーク内にて

視察内容：

“SAGAサンライズパークの取組みについて”
“佐賀駅周辺整備事業について”

[SAGAサンライズパークHP](#)

[佐賀駅周辺整備事業\(佐賀市\)HP](#)

佐賀県(佐賀市)



<http://www.craftmap.box-i.net/>

佐賀県(佐賀市)視察
(令和4年5月10日)

“SAGAサンライズパークの取組みについて”【概要】 ○佐賀県提供資料



整備に当たっての基本的な考え方(整備基本計画から) ○佐賀県提供資料

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、県民の夢や感動を生み出すスポーツの一大拠点の形成を図るとともに、スポーツをはじめとしたさまざまな活動を通じて、地域の活力を生み出し、新たな佐賀県の未来を切り拓く「さが躍動」の象徴的エリアになることを目指す。

1 県有スポーツ施設としてのあるべき機能・設備を備えた施設

① スポーツを楽しむ環境を整える

- 年齢・性別・障害のあるなしに関係なくスポーツを楽しむことができる施設の整備
- 施設の老朽化等に対応した施設の整備

する

② 競技力の向上を支援する環境を整える

- アスリートの練習環境が整った施設の整備
- 指導者の育成、競技団体の連携が図れる施設の整備

育てる

③ スポーツツーリズムを推進できる環境を整える

- 全国規模の大会などの開催に必要な基準を満たした施設の整備
- プロスポーツのような『観る』スポーツに対応した施設の整備
- トップアスリートのキャンプや合宿などに対応した施設の整備

観る

2 支える側も楽しめる施設

- 応援やスポーツボランティアを通じて運営を支えるなど、スポーツを支える側も活用できる施設の整備

支える

3 多目的な利用ができる施設

- スポーツを行わない人でも憩い、集えるような施設の整備
- コンサートなど、スポーツ以外での利用が可能な施設の整備

憩い、にぎわう

基本的な考え方を実現するための横軸

○佐賀県提供資料

5つの視点を実現するための横軸として

- ① 共通のコンセプト(概念)
 - ② 共通の設計思想
- を設定



【① 共通のコンセプト(概念)】

『スポーツ・健康 + エンターテインメント』

【② 共通の設計思想】

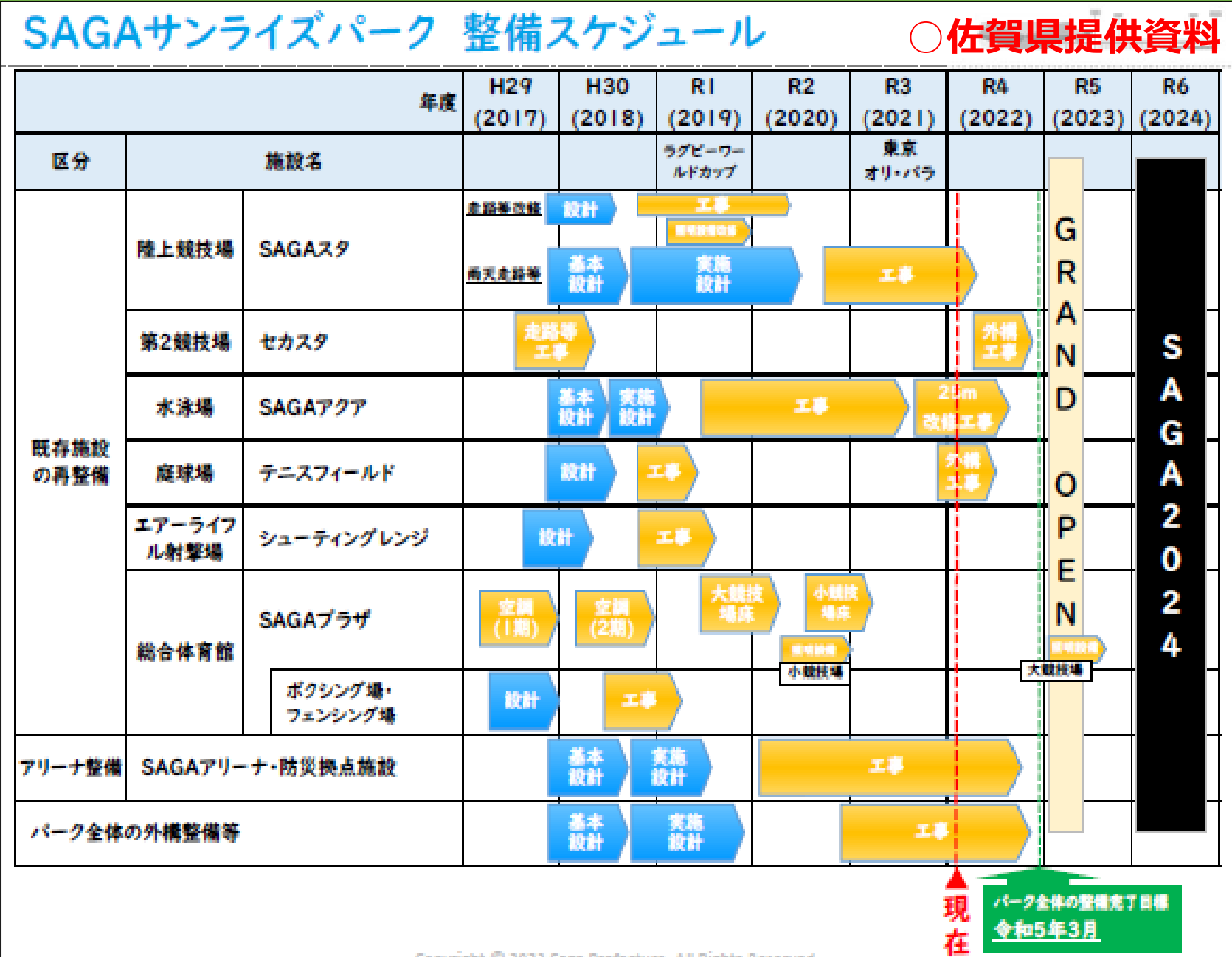
＞すべての人にとって

『マルチ & シンプル』

◎マルチ:多目的な利用ができる

◎シンプル:使いやすく分かりやすい

休日はもちろん、平日にもふらっと訪れてスポーツを楽しんだり、食事や散歩をしたり、それぞれのスタイルで楽しめるような心地よい空間を目指します。



SAGAサンライズパーク整備概要 令和4年4月現在 ○佐賀県提供資料



防災拠点施設としての活用

○佐賀県提供資料

SAGAサンライズパーク(SAGAアリーナ等)は、防災拠点施設として、地域防災において活用可能な施設を整備

◎災害時の輸送拠点

- ・ 佐賀県地域防災計画において、県では、被災地外からの救援物資の受入れ、一時保管、積替、配送等の拠点として予め指定
- ・ メインアリーナは、災害時には輸送拠点として活用

◎避難場所としての活用・・・佐賀市と検討・協議中

- ・ 「令和元年佐賀豪雨災害」をはじめ、近年頻発する災害を踏まえ、防災機能を更に強化
- ・ サブアリーナ等は、指定緊急避難場所や避難所としての使用を検討

<アリーナ平面図>



《防災拠点施設としての施設整備(一部)》

- ・ 停電に備えた照明・電源設備
(非常用発電機はエネルギー棟に設置)
- ・ 上水道途絶時に使用可能な受水槽の設置
- ・ 下水道途絶に備えた緊急排水槽の設置
- ・ 大型トラックが乗入れ可能なメインアリーナ
- ・ 多目的室を物流拠点のバックオフィスとして活用

“佐賀駅周辺整備事業について”【概要】

○佐賀市提供資料

佐賀駅周辺整備事業について

1) まちづくりの方向性（拠点エリアと南北軸）

2) 佐賀駅周辺整備事業

＊事業の全体像（段階的な整備・開発）

＊第1段階 西友跡地の民間開発

＊第2段階 駅前広場、市道三溝線の整備

＊第3段階 旧西友駐車場敷地の開発

※中心市街地への動線強化

3) 街の南北軸の強化（概要）

参考) SAGAサンライズパークとの連携（施設共用）

まちづくりの方向性 [南北軸の強化]

○佐賀市提供資料

(1) SAGAサンライズパーク整備を起爆剤に

- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会
- アリーナの集客力による交流人口増／活性化

(2) 佐賀駅周辺の人のがれを活かす

- 駅、バスセンター等の利用者延1,200万人／年
 - 訪日外国人客の増加(新型コロナ以前)
- ＜R4年度 新幹線西九州ルートの新設＞

(3) 中心市街地の再生に向けて

- 駅と4核エリア・城内エリアをつなぐ動線の強化
- 避難路指定に伴う沿道建築物の解体等の進行

※ 国、県の施策との連動

(ウォーカブル推進都市、歩くライフスタイルの創造)

佐賀駅を中心に街の南北軸を強化し、
賑わいの波及効果を生み出す





【第1段階】西友跡地の民間開発

○佐賀市提供資料

施設概要

○施設名

コムボックス佐賀駅前

○開発事業者

ダイワロイアル株式会社(東京都)

○開業

令和2年6月20日

テナント構成

1階 [JAグループ]

Aコープ、季楽直販店舗、みのりカフェ、
NBCラジオ佐賀(放送局)

SAGA MADDO(観光・県産品情報発信拠点)

2階

物販、医療クリニック、ドラッグストア 等



【第2段階】 駅前広場の整備

○佐賀市提供資料



北口
(R3.5.10供用開始)



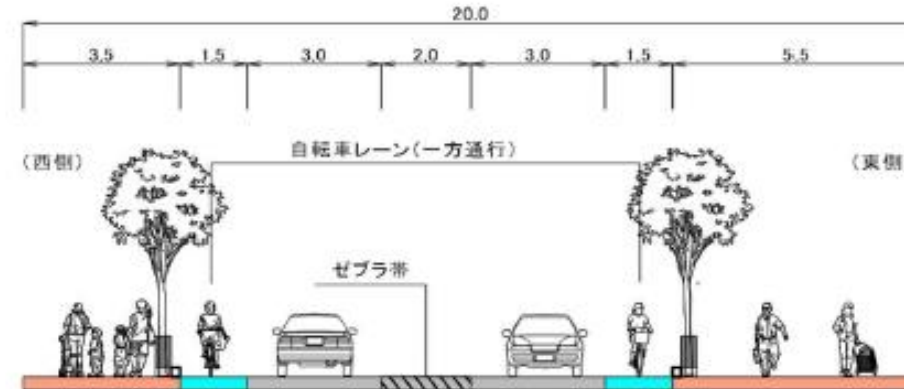
南口(完成イメージ図)

【第2段階】 市道三溝線、ポケットパークの整備

○佐賀市提供資料

SAGAサンライズパークへの
メインストリートに！

愛称決定「サンライズストリート」



距離表示イメージ

- 道路幅員の再配置**
- ＞車線数減(4→2車線)
 - ＞右折レーンの新設
 - ＞自転車レーンの新設
 - ＞東側歩道の拡幅

- 歩道の高質化**
- ＞プリント舗装
 - ＞ベンチの設置
 - ＞バナーフラッグ
 - ＞距離表示 等

無電柱化
ポケットパーク

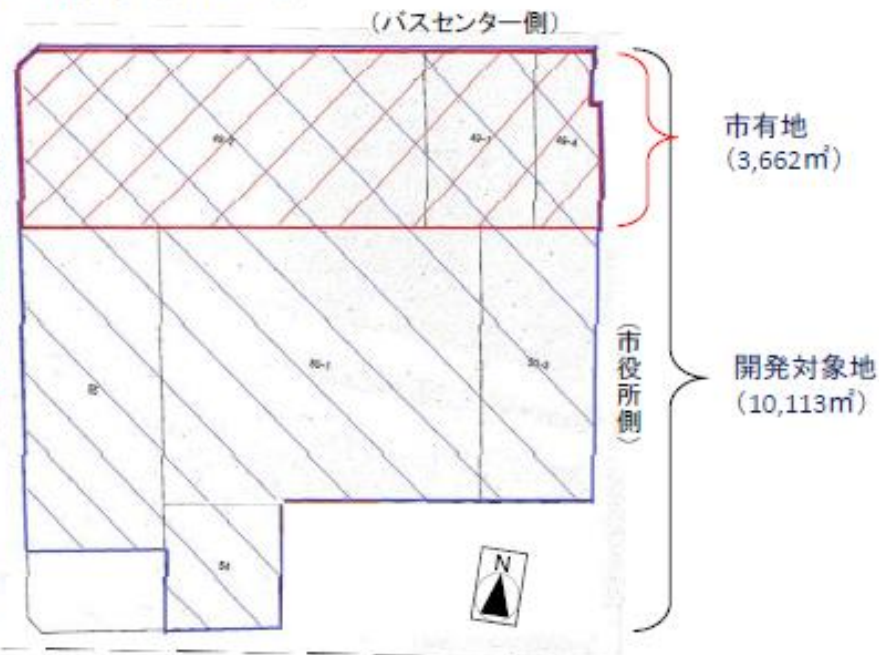


バナーフラッグ
イメージ

【第3段階】 旧西友駐車場敷地の開発

○佐賀市提供資料

- 市が地権者(JA佐賀市中央等)から一部(約1/3)を取得(令和4年3月)
- 地権者と共同で敷地全体の土地利用(民間開発の誘導)を進める。



サウンディング型市場調査

(R1年度実施)

◎9事業者(グループ)が参加

[業種：不動産開発、総合建設業、不動産投資、ホテル開発運営、銀行、リーシング業]

【基本方向】 ホテルを核とした民間開発を誘導する。

事業者ヒアリング

(R2～R3年度実施)

◎デベロッパー、ホテル事業者へのヒアリングを実施中 ➡ 結果を踏まえ、開発事業者公募に係る諸条件を整理

コロナ禍により
スケジュールに遅れ

中心市街地への動線強化

○佐賀市提供資料



佐賀駅南口から中心市街地へ

佐賀市から県へ再整備を要望（車線数減少⇒歩道拡幅）

＜役割分担＞ 佐賀県 ... 交通量調査等(車線減少が可能な)
整備工事

佐賀市 ... 社会実験(歩道拡幅が賑わいづくりに寄与するか)
有識者会議における歩道空間の在り方の検討
(佐賀駅前広場等整備・活用検討会議)

公共空間を活用した社会実験（市：R3.3）



佐賀駅南テラスチャレンジ（県：R3.10.20～31）

さが駅前うまいもん市場（市：R3.10.23～24）



街の南北軸の強化（佐賀駅北エリア）

○佐賀市提供資料

■佐賀駅前広場（北口） ※R3.5月完成

■サンライズストリート（愛称決定）

佐賀駅～SAGAサンライズパークのアクセスルート

多くの来場者が歩く環境づくり＜県市が連携＞

✓わくわく感&高揚感

✓休憩・トイレ機能

取組（概要）

◎道路改良（東側歩道の拡幅等）

◎無電柱化（アパホテル以北）

◎歩道の高質化（プリント舗装、バナーフラッグ等）

東側歩道 令和5年度終了

西側歩道 令和7年度終了

＜建設部対応＞

◎ポケットパークの整備（3箇所）

令和4年度…設計（管理・活用の仕組みづくり）

令和5年度…工事

＜駅室対応＞

◎キッチンカー等による活用スペース整備

＜佐賀県検討中＞

◎鎮流神社の活用（戦勝祈願）

自治会と協議中

【ポケットパークの検討・設計】

✧佐賀商高前スペース

✓生徒WSにより活用方法を検討

✧佐賀商高グラウンド西、三溝公民館横

✓自治会等と活用方法を検討

➡ 設計に反映



街の南北軸の強化（佐賀駅南エリア） ○佐賀市提供資料

■佐賀駅前広場（南口）

✧交通広場（R4.4月完成）

✧交流広場（R4.10～11月完成予定）

- 県道佐賀停車場線、駅前まちかど広場と一体的に「まちのエントランス」として整備
- 指定管理者による利用促進（イベント等）
- 中心市街地活性化と連携した人の流れの誘導

■県道佐賀停車場線（4車線区間）

取組（概要）

◎道路改良（2車線化による東側歩道の拡幅等）

◎歩道の高質化（詳細はR4年度設計による）

<佐賀県対応>

■駅前まちかど広場

取組（概要）

◎県道と一体的に整備 <佐賀県対応>

令和4年度…設計

◎市有地も一体的に整備 <建設部対応>

費用負担、役割分担等について県市協議中

◎社会実験等の実施（R4） <県市連携>

社会実験、花ボランティアへのヒアリングを実施

⇒設計へ反映

中央大通り再生の取組【経済部】

- ✓SAGAスマート街なかプロジェクト実証事業
- ✓佐賀駅バスセンターサイン再編整備事業
- ✓TOJIN茶屋跡地の活用
- ✓民間投資喚起策の検討（新たな支援制度）



南口交流広場（イメージ）



県道佐賀停車場線（イメージ）



県道佐賀停車場線（社会実験）



駅前まちかど広場



日 時…令和4年7月22日 午前10時から
場 所…交野市役所3階 第一委員会室
実施内容…担当課(都市計画部・環境部)による説明、質疑

○環境部資料抜粋

6. 都市計画道路「天の川磐船線」周辺整備との関係

乙辺浄化センターの更新に向け、各種調査・診断等の取り組みを行っておりますが、都市計画部が当該地周辺において「天の川磐船線」の整備事業を計画しており、その計画において、乙辺浄化センターの建て替えや処理方法等についても調査検討していることから、それぞれの計画における総合的なコスト面や、し尿処理の広域化、組織の集約化等を踏まえ、関係部署と協議調整を行い、乙辺浄化センターの更新に向けた方向性を示していきたい。

○都市計画部資料抜粋

○トラック駐車場と一体整備する事による効果

- トラック駐車場について

トラック輸送において、休憩がルール化されているが休憩場所の確保ができておらず、国(国土交通省)としても大きな課題として認識を持っている。

- 場所の優位性について

第2京阪道路のIC（交野北、交野南）に近接しており、周辺に大きな物流施設が建設されている。

- 都市計画道路天野川磐船線について

大阪府中期計画に位置づける時に「市が沿道でまちづくりを行う事」が事業化の条件とされている。

○トラック駐車場と一体整備する事による効果

● 市民のメリット

- ①第二京阪道路沿道への物流倉庫の進出により、第二京阪道路の大型車混入率が上昇している。トラックは目的地へは指定時間に到着することが求められているため、指定時間までは目的地近傍で待機することになる。待機にあたってはどこかに停車する必要があるため、駐車場がなければ路上駐車することになる。市民にとっては道路の安全が脅かされることとなるため、その対策として駐車場が必要となる。
- ②天の川緑地に隣接していることから、ジョギングや散歩、ゲートボールの後に汗を流すために温浴施設を利用したり、食事をする事が可能となる。結果、健康増進事業や高齢者の拠り所となることができる。
また、スーパーマーケットやホームセンターが近傍にあることにより、トラックドライバーが日用品などの買い物ができるだけでなく、交野市内にない銭湯としての機能を設置できる。

○都市計画部資料抜粋



- 昨年11月10日に実施した“**市の現状確認**”から調査業務等の進捗はあるものの、大きな進展はない。

👉 委員から出た主な意見 . . .

- 理事者側のコミュニケーションは十分に取れているのか？
 - いつまでに方向性を出すのか？
 - 環境部の集約化及びし尿処理の広域化との整合は取れるのか？
 - トラック駐車場の計画はまちづくりに結びつくのか？
 - 市民へのメリットはあるのか？
- etc

理事者発言

- 法律上の問題、天の川磐船線の問題、環境部の集約化、
し尿処理の広域化、財政面の問題等、課題は山積している。
→ 年度内の早い時期には一定の方向性を出したいと考えている。

- ・ 本テーマに対する各委員の意見集約を実施

問 「理事者からヒアリングや他都市視察を受け、都市計画道路「天の川磐船線」沿道における市有財産の活用に関して、どのようにすべきか、思い、考え、意見をお聞かせください。」

- ・意見集約については、各委員より多数の意見が提出されたため、

○事業の進め方について

と

○市有財産の活用について

の2つの観点から意見列挙した。 [※次ページへ](#)

○事業の進め方について

- ・都市計画部（都市計画道路天の川磐船線の沿道）と環境部（公共施設配置計画）の両事業の取り組みについて部をまたがる大事な事業として統括する市の部局・責任者等をきちんと決める必要がある。
- ・今後新たに行政主体でつくる施設のあり方として、まちの賑わい創出の拠点を目指してつくる必要があると考えます。市民が集い、憩う場としてまずは計画すべき。併せてトラックターミナルとしての機能を持たせるのであれば、運転手の方が求める場所である事も必要。
- ・天の川磐船線整備の、大阪府の条件の一つとして、「接続する市道整備の具体化」とされている。沿道まちづくりの検討にあたり、「接続する市道整備」をどうするのか、全体像と効果を示して、住民の合意を得られる内容とする必要があると考える。
- ・トラック駐車場が整備された場合、し尿処理施設の更新や環境部の集約をどうしていくのかという点もふくめた市の案を示してほしい。
- ・施設の更新にかかわって、寝屋川市とのし尿処理の広域化について課題やメリット、方向性を明確にする必要があると考える。
- ・乙辺浄化センターの更新と、トラック駐車場を整備する場合の市の財政負担と財政効果（初期投資と中長期）を比較検討し、財政運営基本方針の財政計画とも合わせて判断する必要がある。

○市有財産の活用について

- ・沿道整備に関して、「市民のメリット」として、敷地から天野川緑地へのアクセス（階段など）の整備を要望する。
- ・これまで交野になかった魅力を新たに生むモノを取り入れ、トラックターミナルが交野市内にできる事によって、市民の生活にどのような相乗効果があるのか明確にし、納税者が納得する税金の使い方であると説明できなければならない。
- ・個人的には温浴施設やスポーツジムは流行でもあり、幅広い年齢層に求められるので良いと思います。
- ・面積がそれほど広くないので、トラックの収容台数より利用台数が上回った時に、周辺に大型トラックの路上駐車が増えることも想定され、対策が必要だと考える。
- ・トラック駐車場について、防災機能や、公園の充実など、市民にメリットが実感できる要素が不十分だと、市の事業として市民の理解は得にくいと思われる。地域住民に温浴施設のニーズがあるのか？など、住民ニーズの整理も必要と考える。
- ・トラック駐車場としての役割は理解するが、市民はどのようなメリットがあるのか、市民目線としての企画になっていない。
- ・直ぐ側に緑地公園があるのに駐車場が利用できないなど、市民には何のメリットも感じられない。

○事業の進め方について

- ・ 部が複数にまたがる事業では、責任者や担当者を明確に決めること。
- ・ この事業を進めるには、担当(専門部署)を設ける必要がある。

○市有財産の活用について

- ・し尿処理施設は必要不可欠な施設であるが、
貴重な市有地活用に際し、市民目線の活用
も取り入れること。